

編 集 後 記

編集後記の執筆を受けるにあたり、誰しもが考えるように、執筆の参考に過去の編集後記を順に紐解いてみました。創設期の熱意と混乱に始まり、編集が順調に推移するにつれて、本誌のあり方や医療福祉学についての提言などが書き綴られていました。当然のことながら、編集後記のネタも、時を経て回を重ねるごとに書き尽くされている感がありました。

何を書こうかと悩みながら、一体どの程度の会員の方々が、手元に届いた本誌に目を通していただろうかと、ふと考えました。私自身、毎回手元に届く本誌の全ての論文を精読はできません。熱心に読まれている会員の方々もいると思いますが、一方通行的なむなしさを感じているのは、私だけでしょうか？医療福祉学が総合科学的な性格を持つ以上、投稿論文の研究領域が多方面に広がるのは当然です。今後もさらに広がっていくと思われまふ。総合科学的な学問だからこそ、その質を高めるためには多方面の視点からの討論などがあつてもよいと思ひますし、投稿論文の質を確保しつつ専門外の方々への読みやすさにも配慮して、医療福祉学という学問の模索と創造に努めることが必要と考えます。また、多くの会員の方々が他の学会にも所属されていますが、「どの学術誌に投稿するのが最適か」と悩んだ時、「本誌に投稿するのが最適」と思われる、魅力ある学術誌へどのように発展させていくのかということも今後の大きな課題ではないでしょうか。

この執筆のおかげで、本誌の発展プロセスの概要を学び、本誌の課題について考える機会も得ることができました。そして、編集後記を書くことの意義が少し解りかけた？ところで、(ようやく)規定の文字数に達しました。

最後に、数ある学術誌の中で本誌に論文を投稿していただいた会員の方々、そして、その論文を査読して貴重なご意見を寄せていただいた先生方に、深く謝意を表します。

編集委員 齋藤芳徳

川崎医療福祉学会誌

平成14年12月25日発行

発行者 江 草 安 彦
発行所 川 崎 医 療 福 祉 学 会
〒701-0193 倉敷市松島288
印刷者 常 松 高 坏
印刷所 西尾総合印刷株式会社 横井支店
〒701-1145 岡山市横井上90
連絡先 川崎医療福祉大学 中央教員秘書室
〒701-0193 倉敷市松島288
TEL 086-462-1111 内線54095
086-464-1010 (直通)
FAX 086-463-3508